

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くろっく		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 1日 ～ 令和7年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 8月 8日 ～ 令和7年 9月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 9月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりに寄り添った支援をチーム全体で考え行動している点です。活動プログラムにとらわれず、子どもの状態を確認しながら一人ひとりのペースに寄り添いながら、最適な支援を行えるようにしています。	・来所時の子どもたちの表情や行動をしっかり視診し、職員でしっかり話し合い、見直しをしながら活動を進めています。 ・子どもたちの声にもたくさん耳を傾けコミュニケーションを取りながらその日の状態にあった活動や環境を整えられるようにしています。	・職員間でしっかり子どもの様子を把握し、個人の課題を見つめながらそれに合った支援の検討を重ねていけるようにする。
2	・利用者やそのご家族様に安心感を持って子どもたちが楽しみに通所していると思っていただけているところ。	・子どもたちのストレングスを最善に生かせるようチーム一丸となって支援しています。子どもたちの「やってみたい!」「挑戦したい!」の声に耳を傾けています。	・今後も利用者やその家族の方々に安心感を得ていただけるようにより一層、子どもたちと関わりながら、本人の強みを引き出せる支援をしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域活動が明確化されていない。地域の他の子どもたちと交流する機会が乏しい。	・地域の方々とどのように交流を図っていけばいいか不明。 ・放課後等デイサービスへの相手側からの理解を得る難しさ。	・地域の人へのあいさつや交流の場への参加。 ・地域の児童館等へ交流の計画を立てる。
2	・保護者会の開催がなく、保護者同士の交流が図れていない。	・保護者会をするにあたり、利用者の居場所の確保の困難。 ・保護者会の実施をしたことがないので、実施にあたり進め方の不明確さの問題。	・サービス評表に基づいた、保護者の意見を元に不明確なことは明確に答えていけるようにする。
3	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルの周知の低さや発生を想定された訓練の実施状況の報告、改善を伝えることができていない。	・通所施設ということもあり玄関にマニュアルは掲示しているものの、保護者の方が手に取ることがなかなかできない現状である。SNSを通して訓練状況を発信しているが、全家庭で閲覧する機会も少ないと感じている。	・ホームページにもマニュアルをしっかりと載せて保護者にもしっかり説明していく。 ・SNSでも職員の訓練状況掲載し認知度をあげて理解してもらえるようにする。